
ポケットモンスター メランコリーブラック

AYASHII

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケットモンスター メランコリーブラック

【Nコード】

N2138K

【作者名】

AYASHII

【あらすじ】

マサラタウンに住む

10歳の少年「ブラック」は、

ポケモンマスターになるための旅に出発する！

・・・ことができるのだろうか？

第1話 ポケモンゲット・・・だぜ・・・(前書き)

この小説はポケットモンスターを題材とした二次創作作品です。

まだまだ未熟者が書いた小説なので

文章の表現等がおかしい部分もあるとおもいますが、
楽しんでいただければうれしいです。

「これよりお前にここにある

3匹のポケモンのうち好きなやつを1匹与えよう。

では、カントー地方の新人トレーナー用ポケモンを紹介しよう。」
「心臓が壊れそうなくらいドキドキしている・・・」

「こんなにワクワクしたのは生まれて初めてだ！」

「では、まずは草タイプじゃな・・・」

光輝く中から・・・何かが浮かび上がっているのがわかる！

「草タイプポケモンの加藤じゃ。」

(ゲツ！)

「あ、どうも加藤ですう・・・。」

「おいしいiiiiiiiiiiiiiiiiiiii!!!」

完全に人だよなえ？コレ・・・

俺より10歳くらい年上の男の人だよな？

つーかなんで？モンスターボールでしょ？

それ！！【モンスター】ボールでしょ！？」

「コレコレ、そんなに騒ぐな！何か不満でもあるのか？」

「いやいやいやいや！」

不満だらけだろコレ！なんでしかもなんで草タイプ！？」

「加藤はなかなか好きな女の子に

アタックすることができないポケモンなのじゃよ。(ニコッ)」

「ただの草食系男子だろーがー！！！！」

そういう意味か！そういう意味の草タイプ！？」

「あまり気に入らんようじゃの・・・。」

「当たり前だろ！他には何かないのかよ！」

「むう・・・では炎タイプのポケモンはどうかのお？」

「炎タイプか・・・俺・・・前からパートナーは

炎タイプのヒトカゲにするって決めてたんだよなあ。」

気を取り直そう・・・

光輝く中から・・・何かが浮かび上がっているのがわかる！

(ピカチュウか！？頼む！もうピカチュウと言ってくれっ！！)

「あくタイプポケモンのムカじゃ。」

「3分間待つてやる。」

「ジブリいいいいいいいい！！！！

これアレだよな？モザイクかかってるけどあのんだよねえ？」

「あの入だと？・・・君は誰の前にいると思ってるのだ？」

君はラユタ王の前にいるのだよ！」

「おい・・・なんなんだよこの4人・・・。」

「おお・・・人がゴミのようだ！！！」

「ムカー！」

確かにゴミのような連中だけどそれは言っちゃダメだって！！！！」

「さあ、選ぶがよい！」

「選べるかあああああああ！！！！！！」

こうして、マサラタウンを出発せず、

俺はDSの中の世界で冒険を始めることにした。

T o b e c o n t i n u e d . . .

第1話 ポケモンゲット・・・だぜ・・・（後書き）

登場人物紹介

ブラック

出身：マサラタウン

備考：新人駆け出しトレーナー・パートナーをもらうべくオーキド研究所を訪れる。

加藤

備考：カントー地方の新人トレーナー用パートナーポケモンの1匹。
草タイプ・好きな女性に上手く好意を伝えられない。

高橋

備考：カントー地方の新人トレーナー用パートナーポケモンの1匹。
炎タイプ・職業は消防士・綱渡りと着替えが得意。

田中

備考：カントー地方の新人トレーナー用のパートナーポケモンの1匹。

水タイプ・もう何軒も行きすぎてベロンベロンに酔っぱらってしまった。

ムカ

備考：オーキドが特殊なルートを使い入手したポケモン。

説明する必要もなく、あのムカである。

オーキド

備考：マサラタウンに住むポケモン博士・ポケモン研究のスペシャリスト。

なぜジブリのあの人を登場させたかというと

最後のあの名台詞をいれたかったからです、すみません自重します；

第2話 めのまえがまっくらになった（前書き）

この小説はポケットモンスターを題材とした二次創作作品です。

すみません、原作が崩壊してますね；；

今回はあまりいい話ではありませんので

そこら辺を理解した上で読んでいただければありがたいです。

第2話 めのまえがまっくらになった

あれから1年間・・・
俺はDSに没頭した・・・。

あの時捕まえたコイキングも今は100レベル・・・。

”もう あきらめていた”

自分には心から信頼できるパートナーをもらうことなどできないのだと・・・。

・ブラックの家・

「ブラックー、オーキド博士がお見えになったわよー！降りていらっしやい！」

「・・・・・・・・。」

オーキド・・・奴が俺をこんな人間にした張本人だ。

「おい、ブラック！お前さんのパートナーを連れてきたぞー！」

「!?!」

ここで俺は出ていくべきなのか？

いや・・・まだだ・・・まだ俺の怒りは収まっていない・・・。
どうせ出て行ったところで加藤か高橋か田中かムカだ・・・。

「・・・来ないのお・・・。こっちから行くぞー！」
足音が近付いている！

いや・・・俺は出ていかないぞ・・・絶対出ていかない・・・。

(コン コン)

「おい、ブラックー！」

「・・・・・・・・。」

しばらく沈黙が続く。

「……………」

へんじがない ただのしかばねだった。

「うわあああああああああああああああ……！」

こうして あいつ（オーキド）のせい

で ブリックは めのまえが まっくらになった。

第2話 めのまえがまっくらになった（後書き）

登場人物紹介

ブラック

出身：マサラタウン

備考：新人駆け出しトレーナー・オーキドに受けた扱いがトラウマとなり、鬱病になる。

母

備考：引きこもりになったブラックを見守っていたのだが・・・。

オーキド

備考：マサラタウンに住むポケモン博士。

ポケモン研究のスペシャリスト・ますますブラックの症状を悪化させてしまった。

すみません、なぜか暗い話になってしまいましたね。
がんばって方向を切り替えます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2138k/>

ポケットモンスター メランコリーブラック

2010年12月29日21時01分発行